

企業価値向上

企業概要

会社情報

社名：
三菱マテリアル株式会社
Mitsubishi Materials Corporation

本社所在地：
〒100-8117
東京都千代田区丸の内3-2-3

設立：
1950年4月1日

代表者：
執行役社長 田中 徹也

上場：
東京証券取引所

資本金：
119,457百万円

総資産額：
2,375,345百万円

従業員数：
18,452名

連結子会社：
107社

持分法適用関連会社：
14社

加盟する主要団体等：
日本経済団体連合会、経済同友会、
日本鉱業協会、
グローバル・コンパクト・ネットワーク・
ジャパンほか

2024年度 業績

売上高	1,962,076百万円
営業利益	37,118百万円
経常利益	60,235百万円
ROE	5.1%
ROIC	4.2%

グローバル展開 (2025年3月末現在)

日本：
法人数 33／従業員数 11,151名

欧州：
法人数 28／従業員数 1,825名

東南アジア：
法人数 16／従業員数 3,853名

東アジア：
法人数 15／従業員数 743名

北米：
法人数 13／従業員数 815名

南米：
法人数 2／従業員数 56名

オセアニア：
法人数 0／従業員数 9名

海外進出先国・地域数：
32

従業員数(連結)：
18,452名

連結子会社数：
国内 33社／海外 74社

海外売上高比率：
57.1%

事業領域

金属事業

銅鉱山への投資、銅・金・銀・鉛・錫・
パラジウム等の製錬、家電等のリサイクル



加工事業

超硬製品等の製造・販売



高機能製品

銅加工品・電子材料等の製造・販売

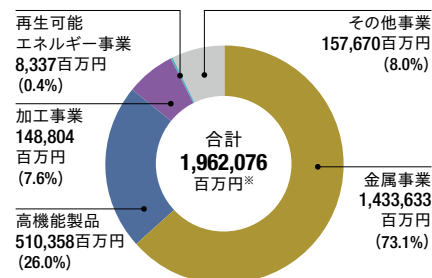


再生可能エネルギー事業

地熱・水力発電等

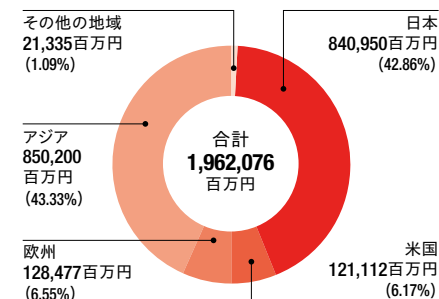


セグメント別売上高構成比



※各事業間の売上高の控除等△296,726百万円を含む

地域別売上高構成比

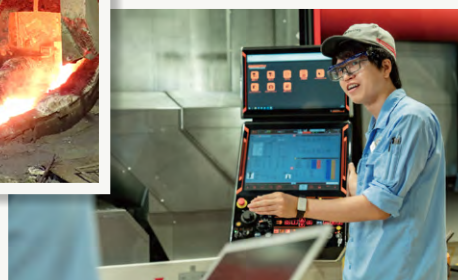
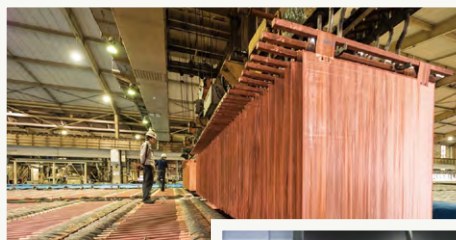


企業価値向上

The Challengers of MMC

金属事業

金属事業では、独自の銅製錬プロセス「三菱連続製銅法」を活用し、銅地金を生産していますが、資源循環へのニーズが高まる中で、E-Scrap(金銀滓)をはじめとするリサイクル原料比率の向上に取り組んでいます。欧州にE-Scrap集荷拠点を設置し、集荷量を拡大するとともに、銅製錬プロセスでの技術向上など、原料調達から製錬におけるさまざまな取り組みに挑戦しています。また、電化製品等を解体・選別し、金・銀・銅といった金属を再資源化し、製造したメーカーに素材として供給する取り組みにも挑戦しています。



高機能製品

高機能製品では、より高い性能が求められる自動車や半導体産業向けに、機能を高めた素材・製品を供給しています。大電流・高放熱が求められるEVや次世代エネルギー機器向けの無酸素銅「MOFCシリーズ」や高強度かつ低コストの銅合金「MSPシリーズ」、半導体パッケージ向け「角型シリコン基板」などの新製品の開発に加えて、製造工程のコストダウン・歩留まり改善などによる損益分岐点の引き下げや、営業・開発・製造ほか各部門の連携によるマーケティング力の強化など、収益力向上に挑戦しています。



加工事業

加工事業では、部品加工に不可欠な切削工具を世界中のお客さまに提供することで、さまざまな産業を支えています。近年では、当社の強みであるタングステンの原料開発や素材加工技術、超硬工具へのコーティング技術を活かし、航空・宇宙産業などで用いられる加工が難しい高性能素材に対応することで、お客さまの生産性向上に貢献しています。また、新たにグループに加わったH.C.Starck Holding (Germany) GmbHとのグローバルなタングステンリサイクル事業の展開にも挑戦しています。

再生可能エネルギー事業

当社グループは、長年蓄積してきた地下資源に対する技術や知見を活用し、地熱、水力、太陽光を中心に再生可能エネルギー事業を展開しています。遠隔監視等を活用した少人数での安定運転など、より効率的な発電所の運転に取り組み、グリーン電力の安定供給に貢献しています。2050年度には、実質的な再生電力自給率100%(当社グループで使用する電力量に匹敵する再生電力発電量)を目指し、地熱発電を中心とした再生電力のさらなる拡大や社有地を活用した風力発電への新規参入等、積極的な事業展開に挑戦しています。